

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第7回までの考え方(原案)	第8回での意見(グループ協議)	第9・10回の検討結果(全体協議)
文量等	全体	97	文量	○より短くすること。	<ul style="list-style-type: none"> ・長くてもどくならないようにする。様々な思いは、説明文をつくって示せば良い。 ・この宣言をするのは、このような風土の中で生活を営み、世界の恒久平和を目指す高山市民であることを記している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さらに国際平和デー ~ 訴えています。」を削除してはどうか。上の文章とギャップがある。平和の日を制定して、まだ3年であり、日が浅く、世界に訴えているとまでは書けないのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月21日を平和の日に定めているから宣言するわけではない。 ・特定日(9月21日)を明示することに違和感があり、削除しても文章の意味は通じる。 ・9月21日は事業レベルではないか。 ・⑦と⑧(資料2)とを入れ替えてはどうか。 ・平和の日制定から3年しか経過していないから触れないということではなく、これからが大切。 ・平和の日をステップにして、都市宣言を作っていくと考えると残したい。 ・国際平和デーが9月21日と周知されていない。認識していただくためにも入れた方が良い。 ・全てを盛り込むことは難しい。子ども向けの説明や補足で、説明していくのが良い。 ・⑦『さらに、国際平和デーにあたる9月21日を「高山市平和の日」と定め、』は、高山市の平和の取り組みとして、大切であり、残したい。 ・案1 国際平和デーにあたる9月21日を「高山市平和の日」と定め、 ・案2 ⑦のまま ●結果:案1とする。その他は修正なし。
	⑨	24		○高山市の紹介部分を、少し控えめにすること。	<ul style="list-style-type: none"> ・市の紹介部分は、高山市らしさ、高山市の良さ、厳しい自然、周りとのつながり、人々の営みを入れたい。例えば、雪が降ったときには、隣の家の方まで少し除雪してあげるといった温かいつながりを入れたい。この部分は、大事にしたい。 ・高山市の平和への取り組みとして、「高山市平和の日」を制定したことを明記した。 		
	⑧⑬	20	文言(世界へ発信)	○市民の平和への行動について、対外的にアピールする部分を記載すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、日本国民、世界の人々がなるほどと思える平和宣言にしたい。 ・平和への取り組みとして、「高山市平和の日」を制定したことを記載。 		
	⑧⑬	21	文言(世界へ発信)	○戦争をしているところに訴えかける文章を入れること。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の三つの行動を記載。 ・宣言は、自分(高山市民)の決意を、外に向けて発信するもの。 		

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第7回までの考え方(原案)	第8回での意見(グループ協議)	第9・10回の検討結果(全体協議)
分かりやすさ等	全体	94	分かりやすさ	○(子どもには、)難しい。子ども向けに、より簡単な言葉を使用すること。			
	全体	95	分かりやすさ	○子ども用の宣言を作成すること。			
	全体	96	分かりやすさ	○子ども達に分かるように、絵を添えること。	・宣言文は、子どもも読むものであるため、あまり難しい文章としない。様々な思いは、説明文をつくって示せば良い。 ・形容詞は極力、省き、簡潔な方が子どもたちの理解が深まる。	・宣言文について、家族で話し、行動する機会としてほしい。また、より具体的にすることで、市民の行動を限定してしまう。読んだ人の感性に訴えたいため、解説は不要。	・広島、長崎の平和宣言にも「恒久平和」が入っている。 ・「恒久平和」は、日本国憲法の前文(日本国民は、恒久の平和を念願し、)にあり、中学で学習する。細かく解説しない方が良い。 ・子どもに考えてもらうという意味では、あえて解説を作らないということも選択肢。 ・子どもには、親が説明できるし、家族で話したり、辞書をひいたりして、勉強してもらいたい。子ども自身が、イメージを膨らませてほしい。 ・恒久平和は、定着している言葉。
	⑧	16	分かりやすさ	○「恒久平和」という言葉が難しいため、別の言葉に言い換えること。	・三つの行動のところは、子どもたちも唱和しやすいし、理解できるだろう。 ・最初からこうですよと限定するよりも、自身で拡大、イメージできる文章としたい。そういう子どもを育てていきたい。	・子ども向けに、別に、解説版を作成してはどうか。	●結果:修正なし
	⑩	30	分かりやすさ	○「脅威」という言葉は難しいため、別の言葉に改めること。			
	⑳	86	分かりやすさ	○「市制施行」との言葉は、難しいため、別の言葉に改めること。			
	⑲	83	文章表現	○倒置法に違和感がある。普通の文章とすること。朗唱しにくい。	・三つの行動のところは、子どもたちも唱和しやすいし、理解できるだろう。 ・文の順番を、「私たちは○○します。△△を。」としているのは、△△の部分強調するため。 ・この宣言を外国語に翻訳することを想定しても、こちらの方が良い。	・朗唱について、市民憲章とは、性質が違うため、現状で良いのでは。	・前回までの考え方(倒置法によって文章を強調)のとおり ●結果:修正なし
	⑲	84	体裁	○行動を示す文章について、分かりやすくするため、最初の文と後の3つの文の間に、空欄を設けたり、「」をつけたりすること。			●結果:保留 ※最終文案完成時に再確認

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第7回までの考え方(原案)	第8回での意見(グループ協議)	第9・10回の検討結果(全体協議)
具体性等	⑧	15	具体性	○「世界に向けて恒久平和の実現を訴えています」を具体的な表現にすること。			
	⑱	79	具体性	○具体性がない。どう行動すれば良いかを示す内容(指針)を記載すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の平和への行動を促す宣言となるよう作成。 ・最初からこうですよと限定するよりも、自身で拡大、イメージできる文章としたい。そういう子どもを育てていきたい。 ・実際の行動につながる宣言としたいという思いがあり、「伝えていきます」、「守り続けます」、「大切にします」の3つの行動を挙げている。 		
	⑱	80	具体性	○自然や文化、人との絆、多様な文化を尊重するだけでは、平和は守れない。これ以外の取り組みを記載すること。	<ul style="list-style-type: none"> 一つ目は、市民意見の中で、世界平和の実現には、戦争をなくし、平和の大切さや戦争について学ぶ・伝えることなどが必要との意見が約4割を占めたことから、人類の一員として取るべき行動として示した。 二つ目は、市民意見の中で、普段の日常に平和を感じるとの意見が約5割を占めたことから、自然環境、先人から受け継ぐ伝統文化、人と人の絆を守ることが、高山市民の普段の日常には欠かせないものであると考え、高山市民の取るべき行動として示した。 三つ目は、市民意見の中で、世界平和の実現には、交流・相互理解・尊重などが大切との意見が約4割を占めたことから、国内外から多くの観光客をお迎えする高山市民として、多様な人々と交流し、より一層、その文化を理解・尊重していくことが必要と考え、高山市民の取るべき行動として示した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宣言文について、家族で話し、行動する機会としてほしい。また、より具体的にすることで、市民の行動を限定してしまふ。読んだ人の感性に訴えたいため、解説は不要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの考え方(市民の平和への行動を促す宣言文とする。ただし、行動を限定せず、読んだ人が、各々にイメージを膨らませることができる文章としたい。)のとおり。 ●結果:修正なし
	⑱	81	具体性	○絶対、戦争をしないという意志表明を記載すること。			
	⑱	82	行動制限の懸念	○市民の行動として示している文章を、市民の平和への行動を制限しないものとする。			

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第7回までの考え方(原案)	第8回での意見(グループ協議)	第9・10回の検討結果(全体協議)
文言等 (市の紹介)	②	1	文言(飛騨山脈)	○高山市の豊かな自然の代表として、荘川地域からは「飛騨山脈」が望めないため、「白山連峰」を加えること。	・「代表される」という文言を使用し、「飛騨山脈」以外へ配慮した。	・飛騨山脈以外にも、白山、御嶽山などが考えられるが、「飛騨山脈に代表される」としているため、現状で良いのでは。	・前回までの考え方(飛騨山脈に代表されるとしており、飛騨山脈以外に配慮)のとおり。 ●結果:修正なし
	③⑮	4	文言(豊かな自然)	○高山全域が、自然が豊かなわけではないし、昔と比べても、自然が減っているため、高山の自然を、「豊か」と形容しないこと。	・高山市民は、素晴らしい自然を大切にしてきた。		・厳しい自然もあることから、「恵まれ」ではなく、「囲まれ」としている。 ・文字通り、自然に囲まれているため、「囲まれ」が良い。 ・「囲まれ」の方が、飛騨山脈以外の自然を想像しやすい。 ●結果:修正なし
	③	5	文言(豊かな自然)	○「豊かな自然に囲まれ」は、単に位置的表現であるので、「豊かな自然に恵まれ」もしくは「豊かな自然に包まれ」とすること。		・「豊かな自然に恵まれ」としてはどうか。	
	⑤	10	文言(国際観光都市)	○観光都市は、高山の一部の地区のみ。また、「国際観光都市」だから平和宣言するとの印象があるため、「国際観光都市」の表現を見直すこと。	・高山市らしい宣言文となるように作成。 ・多くの方に高山市を訪れていただいているのは、高山市民が、多様な文化を理解し、尊重している結果だと思う。	・観光資源は、街中だけではない。国際観光都市であることは、高山市の大切な部分で、高山市全体が、国際観光都市として、人との繋がりを大切にしていきたい。現状で良いのでは。	・昭和61年の「国際観光都市宣言」には、「伝統的文化都市・高山市を、…広く交流を通じ、諸外国に理解を求めるとともに、…市民参加を基調とした国際親善を推進するため…宣言します。」とある。 ・文化があり、学んでもらえる都市が国際観光都市と考えた場合、国際観光都市は残したい。 ・国内外から多くの人々が訪れるから、国際観光都市ではないので、「国内外から多くの人々が訪れる」は削除したい。この場合、「育み」とするか「育む」とするか。 ・「育む」とすると、④「祭りや匠の技などの伝統文化を育む」のみが国際観光都市に係ることになってしまう。 ●結果:国内外から多くの人々が訪れる「国際観光都市」 ●結果:「育み」のままとする。
	⑤	11		○『国内外の多くの人々に愛される「国際観光都市」』とすること。	・真の国際観光都市とは、単に誰かが来て、何かを見て、買って、帰っていただくだけではなく、そこに、人々との交流、思いを知るといった部分がないと本当ではない。	・国際観光都市だから宣言するのではない。国際観光都市とすると、観光客に来ていただきたいので宣言すると受け取られる懸念がある。文化があつて、その結果、観光がある。	
	⑨	22	文言(国際文化都市)	○観光に偏重しているため、「国際文化都市」などの面について、記載すること。	・観光客は、高山と違う文化の方。そういった異文化の方を理解し、尊敬し、知ることが大切。 ・人の心を豊かにする文化が大切。		
	⑥	12	文言(周りとのつながり)	○「周りとのつながり」について、詳しく記載すること。	・高山市民は、素晴らしい自然や伝統文化とともに、地域の人や高山市を訪れる人とのつながりなどを大切にしてきたことから、「周りとのつながり」という文言を入れた。 ・「周りとのつながり」は、人と自然、異文化交流を想起させるので、ここも考えさせる良い文言。「おもてなしの心」もここに含められる。		・前回までの考え方(「周りとのつながり」は、人と自然、異文化交流など、いろいろな意味をイメージさせる。)のとおり。 ●結果:修正なし
	⑥	13	文量	○文の流れをスムーズにするため、「周りとの」を削除すること。	・戦後の苦しかったとき、周りの人の親切に助けられた。昔の結の助け合いの精神を次世代に引き継いでいくことが大切。		
⑦	14	接続詞	○「さらに」を、「また」などの別の接続詞に改めること。	・周りとのつながりを大切に暮らしており、さらに「高山市平和の日」を定めて、世界に向けて恒久平和の実現を訴えているということを強調するため、「また」ではなく、「さらに」とした方が良い。	・現状で良いのでは。	・前回までの考え方(恒久平和の実現を訴えていることを強調するため、「また」ではなく、「さらに」とする。)のとおり。 ●結果:修正なし	

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第7回までの考え方(原案)	第8回での意見(グループ協議)	第9・10回の検討結果(全体協議)
文言等(世界の現状)	⑩	31	文章表現	○「紛争・テロ・飢餓」と「核兵器の脅威」が、はっきりと並列に読めるよう、文章を改めること。			<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地で紛争・テロ・飢餓があるが、核兵器の脅威はそうと言えるのか。 ・「飢餓」は直接、核兵器の脅威へと繋がらないと考えれば、「紛争・テロ・飢餓が後を絶たず、また核兵器の脅威にもさらされている～」としてはどうか。 ・「核兵器の脅威にさらされている」は、前の文章「紛争・テロ・飢餓が後を絶たず」を受けたものではないが、現状の文章で、意味は通じる。 <p>●結果:修正なし</p>
	⑩	32	文言(争い)	○内紛、テロ、核、差別、犯罪などは、人間の利己的な争いが原因であるので、「争い」という言葉を記載すること。			<ul style="list-style-type: none"> ・紛争に、「争い」が入っている。 ・人間の争いについては、既に、「しかし、世界の各地では、紛争・テロ・飢餓が後を絶たず・・・」で表現されている。 <p>●結果:修正なし</p>
	⑩	33	文言(個人主義)	○核兵器だけが脅威ではないため、「個人主義的な考え方が脅威」であることを記載したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市民は、素晴らしい自然や伝統文化とともに、地域の人や高山市を訪れる人とのつながりなどを大切にしてきたことから、「周りとのつながり」という文言を入れた。 ・市民意見の中で、世界平和の実現には、交流・相互理解・尊重などが大切との意見が約4割を占めたことから、国内外から多くの観光客をお迎えする高山市民として、多様な人々と交流し、より一層、その文化を理解・尊重していくことが必要と考え、高山市民の取るべき行動として示した。「私たちは大切にします。多様な文化を理解し、尊重することを。」 		<ul style="list-style-type: none"> ・現状の文案には、個人主義に対して、「周りとのつながり」、「多様な文化を理解」が入っている。 <p>●結果:修正なし</p>
	⑩	26	接続詞	○「しかし」を削除すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・「しかし」で接続されている2文は、世界に向けて恒久平和の実現を訴えているが、世界は、未だ、平和ではないという意味の2文であるので、先の話の内容を受けて、それと反対または一部違う事を述べる接続詞「しかし」を使用。 	・現状で良いのでは。	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成上、「しかし」は必要。 <p>●結果:修正なし</p>

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第7回までの考え方(原案)	第8回での意見(グループ協議)	第9・10回の検討結果(全体協議)
平和の定義等	⑧⑪	17	文言(平和の定義)	○高山市が目指す「平和」が記載されていない。また、戦争が無いことが、平和ではない。「平和の定義」について考え、記載すること。		(安心して平和幸せに暮らせる日常が必ず来ることを願う…。必ず、少し強い表現なので削除したい。平和の定義として、「平和」を「安心して幸せに暮らせる日常」としてはどうか。)	
	⑪	46	文言(平和の定義)	○私たちは世界中の誰もが、安心して、幸せに、そして平和に暮らせる日が必ず来ることを願う、行動します。」とすること。	・大きい平和、足元の暮らしの平和、様々な思いを盛り込む必要がある。 ・市民意見では、普段の日常、日々の生活の安寧に平和を感じているとの意見が多かった。これは、「私たちは、世界中の人々が安心して平和に暮らせる日が必ず来ることを願う、行動します」で反映した。		・子どもたちのアンケートに「笑顔」があったので、「笑顔」を入れてはどうか。 ・「安心して平穏に暮らせる」としてはどうか。 ・「平和」という言葉は重層的。日常の平和、家族の平和、地域や市の平和、国家の平和、全世界の平和。あえて、「平和」を他の言葉で定義づけ、多様性を失わせるよりも、子どもを含め、各々が自分なりの平和をイメージできる「平和」という言葉を使用するのが良いのでは。
	⑪	47	文言(平和の定義)	○「私たちは、世界中の子どもたちが、大人たちが安心して平和に暮らせる日の実現のために」とすること。	・戦争、貧困、差別がないのが平和の大きな条件。 ・最初からこうですと限定するよりも、自身で拡大、イメージできる文章としたい。そういう子どもを育てていきたい。		・「必ず」が強すぎる表現ではないか。 ・「～平和に暮らせる日が必ず来ることを願う、行動します」については、力強さを感じる表現で、このままで良いのでは。
	⑩⑱	42	文言(差別)	○もう少し身近な問題である「差別」について記載すること。			・「世界中の人々」ではなく、「世界中の誰も」の方が、より身近な表現ではないか。 ・「人々」と「誰も」に、修正するほどの大きな違いはない。
	⑪⑱	45	文言(普段の日常)	○世界平和は大切だが、我々の普段の生活が平和の原点。「普段の日常」、「家庭の平和」について記載すること。		・文中「私たちは、世界中の人々が安心して平和に暮らせる日が必ず来ることを願う、行動します」に含まれるため、現状で良いのでは。	●結果:修正なし
	⑩⑱	43	文言(いじめ・暴力)	○身近な小さな戦争(いじめ、暴力)を失くすことが平和につながるため、「いじめ、暴力」について記載すること。		・誇れる伝統文化と多様な文化の尊重の整合、人権・いじめの事を考慮し、「私たちは大切にします。多様な文化を理解し、尊重することを。対話を通じ、多様な価値観を理解することを」としてはどうか。	
	⑭	57	文言(人権)	○生存権が尊重されていることが基本であるので、「人権等」について記載すること。	・人権については、「命の大切さ」で表現。		
	⑱	82	行動制限の懸念【再掲】	○市民の行動として示している文章を、市民の平和への行動を制限しないものとする。			
	⑪	48	文章表現	○「平和に暮らせる日が必ず来る訪れる」とすること。		・「訪れる」としたらどうか。	
	⑪	49	文章表現	○「願う」ではなく「信じ」とするか、または、「必ず」を削除すること。			

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第7回までの考え方(原案)	第8回での意見(グループ協議)	第9・10回の検討結果(全体協議)
文言(核・核兵器)	⑩⑬	39	文言(核、核兵器)	○高山市として、これまで、核兵器について、それほど、考えてきていないため、高山市の平和宣言として、「核兵器」について記載することは適当ではないこと。	・「戦争と核兵器」については、平成27年度開催の「高山市平和サミット」で、広島市長と長崎市長にお越しいただき、示唆に富むお話を頂戴したため、入れたい。 ・福島での原発事故をきっかけに、核の平和利用への不安が広がったことから、「核の脅威」とすることも検討した。しかし、多くの国々が核の平和利用を行っていることを踏まえ、「核兵器の脅威」に絞った。 ・「戦争と核兵器」という文章なので、核兵器とした方が良いのではないか。 ・核がコントロールできていない現状も、勿論、認識すべきだが、核兵器の脅威が増している現状を踏まえ、核兵器と明確にするのが良い。		・「核兵器」による悲劇は、繰り返されてはならない。記載すべき。 ・特定の国を連想させるについて、保有国は複数であり、特定していない。 ●結果:修正なし
	⑩⑬	37	文言(核、核兵器)	○核兵器について、広島や長崎のことを触れること。			
	⑩	34	文言(核、核兵器)	○核兵器の脅威は、具体的すぎて、特定の国を連想させるため、修正すること。			
	⑩	35	文言(核、核兵器)	○「抑止力によって保たれる平和は、真の平和ではない」ことを記載すること。			
	⑩⑬	36	文言(核、核兵器)	○「核兵器」に限定せず、原子力発電を含む「核」の脅威を踏まえた内容とすること。			
	①⑩⑬	38	文言(核、核兵器)	○核について、更に強調(核兵器廃絶、非核、非核都市宣言)すること。	・核兵器廃絶に特化した内容ではないため、「高山市平和都市宣言」という、いずれにも偏らない名称が適当。		・前回までの考え方(核兵器廃絶に特化した内容ではない)のとおり。 ●結果:修正なし

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第7回までの考え方(原案)	第8回での意見(グループ協議)	第9・10回の検討結果(全体協議)
文言(市民の行動)	⑫	54	文言(現在)	○今を大切に、しっかりと未来につなげていく必要があるため、過去と未来だけではなく現在について記載すること。	・市民意見の中で、世界平和の実現には、戦争をなくし、平和の大切さや戦争について学ぶ・伝えることなどが必要との意見が約4割を占めたことから、人類の一員として取るべき行動として示した。 「私たちは過去から学び、未来へ伝えていきます。戦争と核兵器の悲惨さ、愚かさ、恐ろしさ、そして命の大切さを。」		・「私たちは、～行動します。」が現在について述べた文章。 ●結果:修正なし
	⑬	56	文言(愚かさ)	○愛する人を守るために戦った人もいるから、「愚かさ」を修正すること。	・市民意見の中で、世界平和の実現には、戦争をなくし、平和の大切さや戦争について学ぶ・伝えることなどが必要との意見が約4割を占めたことから、人類の一員として取るべき行動として示した。 「私たちは過去から学び、未来へ伝えていきます。戦争と核兵器の悲惨さ、愚かさ、恐ろしさ、そして命の大切さを。」		・この文章は、戦争そのものを愚かと言っている。人に対してではない。 ●結果:修正なし
	⑬	9	文言(戦争と～命の大切さをの順番)	○戦争と核兵器の悲惨さ、愚かさ、恐ろしさ、そして命の大切さを」の順番		・命の大切さを強調したいため、現状で良いのでは。	・前回までの考え方(命の大切さを強調)のとおり。 ●結果:修正なし
	⑮	58	文言(自然環境保護)	○戦争がなくなっても、地球を守る行動がないと安心して暮らせない。自然エネルギーの推進、環境を守る取り組みを記載すること。	・普段の日常に平和を感じるとの意見が約5割を占めたことから、自然環境、先人から受け継ぐ伝統文化、人と人との絆を守ることが、高山市民の普段の日常には欠かせないものであると考え、高山市民の取るべき行動として示した。 「私たちは守り続けます。豊かな自然、誇れる伝統文化、人と人との絆を。」		・前回までの考え方(自然環境については、「私たちは守り続けます。豊かな自然、～」で反映)のとおり。 ●結果:修正なし
	⑯⑰	59	文言(誇れる伝統文化)	○「自分たちの文化を誇る」ことは、他文化の排除になる恐れがあり、「多様な文化を理解」と矛盾するため、「誇れる」を削除すること。	・「豊かな自然、誇れる伝統文化、人と人との絆を」は、高山市らしい。	・誇れる伝統文化と多様な文化の尊重の整合、人権・いじめの事を考慮し、「私たちは大切にします。多様な文化を理解し、尊重することを。対話を通じ、多様な価値観を理解することを」としてはどうか。【再掲】	・自分たちの文化を理解し、誇れるからこそ、他の文化を認め、理解し、尊重できる。 ・受入難い文化もあるかもしれないが、基本的には、様々な考えを理解し、尊重しながら、話し合っ物事を進めていくのが良い。相手の文化を全く否定しては、物事が話し合いで、進んでいかない。 ・国際観光都市として国内からお客様をお迎えできるのは、誇れる伝統文化があつてこそ。 ・子どもたちの意見にあつた、虐待がない、いじめ、暴力がないといった人権に関することが心に残り、「対話を通じ、多様な価値観を理解することを」としたらどうか。 ・多様な文化を理解するということは、多様な価値観の理解へつながる。 ●結果:修正なし
	⑱	60	文言(文化の尊重)	○多様な文化による争いを含めて尊重すると読み取れる。また、人権侵害につながるような、受け入れ難い文化も存在するため、「尊重」を削除、もしくは、「対話」に置き換えること。	・多くの方に高山市を訪れていただいているのは、高山市民が、多様な文化を理解し、尊重している結果だと思ふ。		

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	第7回までの考え方(原案)	第8回での意見(グループ協議)	第9・10回の検討結果(全体協議)
文言(市民の行動)	㊸	85	文言(80周年)	○「80周年」は、宣言に関係ない。また、80周年記念で行ったと、宣言が軽んじられる懸念があるため、「市制施行80周年」を削除すること。	・いつ宣言したかが後々伝わるように、「市制施行80周年」と明示する。	・今後、いつ作成したかが分かるように、現状で良いのでは。 ・基本的には「80周年」は、必要でないと思うが、全体での再検討が必要である。(修正意見が多い)	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、見たときに、あったほうが良い。 ・子どもたちの心に残ることを考えたとき、80周年があったほうが良い。 ・80周年のために宣言するのではない。約9割の自治体が既に宣言しているなか、80周年で宣言することを記載する必要はないだろう。 ・いつ宣言したかは、宣言日が記載される。 ・市民憲章は市制施行30周年に制定されているが、本文にはその記載はない。 ・80周年は旧高山市のことであることを考え、削除したほうが良いのでは。 <p>●結果:「市制施行80周年にあたり」は削除。</p>
	㊸	90	文章表現	○主語をはっきりさせるため、「永久に平和都市」の主語として、「高山市」を追記すること。		・「高山市民は、高山市が永久に平和都市であることを宣言する。」としてはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・案1: 私たち高山市民は、ここに高山市が永久に平和都市であることを宣言します。 ・案2: 私たち高山市民は、高山市が永久に平和都市であることをここに宣言します。 ・案3: 私たち高山市民は、永久に平和都市であることを宣言します。 ・平和都市の主語として、「高山市」を追記すると、「高山市」だけのことを言っていることになるが、それで良いのか。 ・高山市の平和都市宣言であるので、「高山市」を追記するのが適当。 ・市民が主体という意味で、「高山市民」はあった方が良い。 <p>●結果:案1とする</p>